

## アメリカ シカゴ高校農業科学の高校生が学部を 訪問し、動物生産学について学びました。

平成 29 年 6 月 8 日（木）、アメリカイリノイ州シカゴ高校農業科学の高校生 12 名と教員 2 名が広島県立西条農業高校 SSH 事業の一環で生物生産学部を訪問し、動物生産学について学びました。日本の大学での授業および学生の研究の様子を学習する目的で、動物生産学分野、とくにアメリカと日本の動物生産の歴史および動物生産学の違いについての授業を受けました。その中でニワトリの絵を描くことで家畜の形態について改めて認識を深め、設定した課題についてのディスカッションを行いました。さらに 3 名の大学院生（博士 1 年：寺田拓実君、伊藤文香さん、修士 1 年：伊藤真穂さん）の研究についてのプレゼンテーションおよびその内容について議論をしました。この 9 月から高校に入学予定の中学生も参加してくれていました。若さと活気、情熱を感じたひと時でした。



イリノイ州立大学にも留学もされていた吉村研究科長に御挨拶をいただきました



シカゴの畜産業は？まずはウシの遺伝資源から始めます →



博士課程1年生・伊藤文香さんの研究プレゼン



アメリカ合衆国シカゴ農業高校の生徒さんとともに集合写真

文責：家畜育種遺伝学（准教授）・西堀正英

(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/gsbstop/interview/ja/nishibori.html>)

参考：広島県立西条農業高等学校 <http://www.saijyo-ah.hiroshima-c.ed.jp/>